



～東の丘に芳しく香れ～

# 東芳っ子供り



令和4年 6月10日

東芳小学校だより

第10号

文責：校長 山際裕之

## 外部講師の方々を活用した健康教育を行いました

### 6月6日(月) うがい手洗い教室(1・2年生)



株式会社明治(meiji)のご協力により、うがい手洗い教室を行いました。講師の先生は、食育担当で栄養士の阿部様です。

子どもたちは、細菌やウイルスが体の中に入ると具合が悪くなること、細菌やウイルスを体の中に入れないためには正しくうがい、手洗いをすることが大切であることを学びました。正しく手を洗うための6つのポイントを教えてもらい、実践しました。この時期の意識付けが大切だと思いますので、ご家庭においてもお子様と一緒にいただければ幸いです。

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| ①手のひらをすりすり      | ②手の甲をごしごし |
| ③指先とつめの間をこちょこちょ | ④指の間をもみもみ |
| ⑤親指と手のひらをねじねじ   | ⑥手首をくるくる  |



### 6月8日(水) 食育講座(低・中・高のグループごとに全学年)



郡山中央ライオンズクラブ様のご協力により、低・中・高学年のブロックごとに食育講座を受講しました。日本食育協会評議員の池田様、食育保育園豆の木ハウス園長の上遠野様に講師を務めていただきました。お二には、それぞれのブロックの発達段階に応じて、衣装や講話内容を工夫していただきました。

低学年ブロックは、朝食の大切さ、砂糖の摂りすぎはいけないこと、よくかんで(30回)食べることの大切さ、バランスよく食べることの大切さなどを話していただきました。「まごはやさしい」は有名ですね。

中学年ブロックは、正しい食事のしかたや食事のマナーについて話していただきました。後半は全員が正しい箸の持ち方を確認しました。箸や鉛筆の正しい持ち方は、幼少期に身に付けたいものです。

高学年ブロックはちょっとレベルが上がり、実験を行いながら食品添加物、発がん性物質、遺伝子組みかえの食材などの話をしていただきました。子どもたちは、はじめて聞く話や驚く内容が多かったようです。体によい食べ物、危険な食べ物を判断する知識と目もち、「選食」することの大切さを学びました。

食べることは生きていく上で最も大切な行為であり、食に関する教育はご家庭との連携が必要不可欠です。ぜひ、ご家庭においてもお子さんと食に関する話題を共有していただきたいと思います。

**\*毎日の学校生活の様子については、本校のホームページを随時更新していますので、ぜひご覧ください。**